

令和6年度 第2回 大阪市立加島小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立加島小学校
校園長名 城牆 雅一

日時	令和6年11月20日(水) 19時~20時15分													
場所	多目的室													
文書送付	委員など	本岡さゆり(会長)、坂本秀美(委員)、西岡嘉裕(委員)、大崎慎一(委員) 福場弥生(委員)、武田真実子(委員)、小山恵理(委員)、内田はるか(委員)												
	校園	城牆 雅一(校長)、篠崎 昌美(教頭)、住藤 泰司(教務主任)												
	区役所	松尾 直美(淀川区役所 窓口サービス課長)												
議題	① 学校関係者評価(「運営に関する計画」中間評価)について ② 全国学力・学習状況調査について ③ 学校の現状について													
意見要旨	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">協議の結果</th> <th>意見の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>承認される。</td><td>○スマートフォンを3時間以上使用していると回答した児童が63.4%もいたということを保護者に公開しているか? ⇒加小だよりの号外で保護者に伝えた。保護者の協力も得ながら、問題点の改善に努めていきたい。</td></tr> <tr> <td>②</td><td>承認される。</td><td>○子どもにスマホを持たせていたら安心…ということはあるか?様々な家庭がスマホを持たせているようだが。 ⇒スマホは、学年が上がるほど保有率が高く、高学年では持っていない子の方が少ないのが現状である。携帯・スマホの使い方などは、ヨドネルやノーメディアデイの取組を継続するとともに、今後も学校でも指導していく。</td></tr> <tr> <td>③</td><td>承認される。</td><td>○LGBTQの教育はどのように行われているのか? ⇒・昨年度は高学年の取組を研究大会で報告し、クラスの実践を学年にも広げた。 ・発達段階に応じて指導を行っている。 ○読書冊数はだれが設定しているのか? ⇒子どもが各自自分で設定している。読書量については、中間評価アンケートでも、保護者の回答と児童の回答に差がある項目の一つになっている。 ○働き方改革は進んでいるか? ⇒教員の時間外勤務時間の状況をみると昨年に比べて減少し改善している。持ち帰りの仕事についても削減できるよう努力したい。</td></tr> </tbody> </table>		協議の結果		意見の概要	①	承認される。	○スマートフォンを3時間以上使用していると回答した児童が63.4%もいたということを保護者に公開しているか? ⇒加小だよりの号外で保護者に伝えた。保護者の協力も得ながら、問題点の改善に努めていきたい。	②	承認される。	○子どもにスマホを持たせていたら安心…ということはあるか?様々な家庭がスマホを持たせているようだが。 ⇒スマホは、学年が上がるほど保有率が高く、高学年では持っていない子の方が少ないのが現状である。携帯・スマホの使い方などは、ヨドネルやノーメディアデイの取組を継続するとともに、今後も学校でも指導していく。	③	承認される。	○LGBTQの教育はどのように行われているのか? ⇒・昨年度は高学年の取組を研究大会で報告し、クラスの実践を学年にも広げた。 ・発達段階に応じて指導を行っている。 ○読書冊数はだれが設定しているのか? ⇒子どもが各自自分で設定している。読書量については、中間評価アンケートでも、保護者の回答と児童の回答に差がある項目の一つになっている。 ○働き方改革は進んでいるか? ⇒教員の時間外勤務時間の状況をみると昨年に比べて減少し改善している。持ち帰りの仕事についても削減できるよう努力したい。
協議の結果		意見の概要												
①	承認される。	○スマートフォンを3時間以上使用していると回答した児童が63.4%もいたということを保護者に公開しているか? ⇒加小だよりの号外で保護者に伝えた。保護者の協力も得ながら、問題点の改善に努めていきたい。												
②	承認される。	○子どもにスマホを持たせていたら安心…ということはあるか?様々な家庭がスマホを持たせているようだが。 ⇒スマホは、学年が上がるほど保有率が高く、高学年では持っていない子の方が少ないのが現状である。携帯・スマホの使い方などは、ヨドネルやノーメディアデイの取組を継続するとともに、今後も学校でも指導していく。												
③	承認される。	○LGBTQの教育はどのように行われているのか? ⇒・昨年度は高学年の取組を研究大会で報告し、クラスの実践を学年にも広げた。 ・発達段階に応じて指導を行っている。 ○読書冊数はだれが設定しているのか? ⇒子どもが各自自分で設定している。読書量については、中間評価アンケートでも、保護者の回答と児童の回答に差がある項目の一つになっている。 ○働き方改革は進んでいるか? ⇒教員の時間外勤務時間の状況をみると昨年に比べて減少し改善している。持ち帰りの仕事についても削減できるよう努力したい。												
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・R6「運営に関する計画」中間評価まとめ・学校関係者中間評価アンケート結果 ・R6全国学力・学習状況調査結果・加小だより(8~11月号・号外) 													
備考	傍聴者[0]名													